

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040080

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費：2,150千円 計画内容：負担金及び冬季就労対策事業
基本施策	4 商工業の振興	事業優先度	A	
単位施策	4 勤労者の就労環境の向上	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	勤労者雇用促進事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	10 建設水道課	
事業指標	通年雇用の促進及び冬季就労者の雇用		#N/A	
事業目標	通年雇用者5人及び冬季就労人員15人	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 地域雇用開発促進法	
住民協働		関係個別計画名	無 通年雇用促進	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	西紋別地域通年雇用促進支援協議会への負担 冬季就労対策事業	西紋別地域雇用促進支援協議 会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円 冬季就労対策事業(除雪業務) 2,000千円	西紋別地域雇用促進支援協議 会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円 冬季就労対策事業(除雪業務) 2,000千円	西紋別地域雇用促進支援協議 会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円 冬季就労対策事業(除雪業務) 2,000千円	西紋別地域雇用促進支援協議 会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円 冬季就労対策事業(除雪業務) 2,060千円	西紋別地域雇用促進支援協議 会への負担金 150千円 ・総事業費 7,910千円 財源 国庫 6,000千円 道 1,150千円 市町村 760千円 冬季就労対策事業(除雪業務) 2,060千円	
	事業費(千円)	10,870	2,150	2,150	2,150	2,210	2,210
計 画 事 業 費	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	10,870	2,150	2,150	2,150	2,210	2,210
実 績 事 業 費	事業費(千円)	9,721	2,118	2,140	2,739	2,724	0
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	9,721	2,118	2,140	2,739	2,724		
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協 議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 15名 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協 議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 15名 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協 議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 15名 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・紋別地域通年雇用促進支援協 議会への負担金 ・冬季就労対策事業(除雪業務) 就労実人員 10名 ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	通年5人・冬季20人	通年5人・冬季20人	通年5人・冬季20人	通年5人・冬季15人	通年5人・冬季15人
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	99%	100%	127%	123%	0%
		全体達成率	19%	39%	64%	89%	89%
	備考欄						

事業名	勤労者雇用促進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	福田 泰弘

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	冬期間失業となる労働者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	通年雇用者及び冬期間就労人口								
【抱える課題やニーズは】	通年雇用を確保できないことにより、生活基盤が不安定となり、消費活動が鈍化する。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	冬期失業者の解消	① 通年雇用化意識啓発セミナー参加者数(雄武会場3回実施)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>5人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>6人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>120.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	5人	実績値	6人	達成度	120.0%
目標年度	平成28年度										
目標値	5人										
実績値	6人										
達成度	120.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	通年雇用の実現によって生活基盤が安定し、それによる購買力向上が地域経済活性化をもたらす。	② 実績人数(冬期就労人員)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成28年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>15人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>10人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>66.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	15人	実績値	10人	達成度	66.7%
目標年度	平成28年度										
目標値	15人										
実績値	10人										
達成度	66.7%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	除排雪業務の委託	冬期間における歩道や公営住宅団地内通路の確保、防雪柵解体作業、除雪対策、保育所及び社会福祉施設、各バス待合室等の除排雪委託。									
	協議会への負担金支出	西紋地域5市町村により構成されている「西紋別地域通年雇用促進支援協議会」への負担金支出。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	除排雪作業等については対象が公共性の高い場所であることから、恒久的な実施が必要である。また、通年雇用対策については、当町のみならず周辺市町村共通の課題であり、町単独では事業実施範囲が限定される可能性があることから、広域連携が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	除排雪作業等については、降雪量により左右されること、また予算上の問題もあり目標値を下回っているが、通年雇用対策については、目標値を上回っており、また、他分野での就労もあり、概ね効果があつたと判断する。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	除排雪作業等については、公共工事に使用する労務単価を使用するなど、過剰なコスト算定は行われておらず効率的と判断する。また、通年雇用対策事業については、国・北海道からの委託料が主たる財源であり、総体事業費に対する市町村負担金は小額なこと、効率的であると考え。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	セミナーの開催においては、広報・チラシ等で周知を行っており、冬期就労対策事業では、公共性の高い場所の除雪であることから、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
冬期就労対策になるのみならず、円滑な交通や安全性が確保されるため適当と判断する。通年雇用対策については情勢を考えて必要であると考え。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
雇用情勢の改善は見られるものの、今後とも就職促進に係る事業として協議会と連携し取り組む必要がある。除排雪作業等については、冬期間の労働確保のために必要であり、今後も支援することが必要である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止